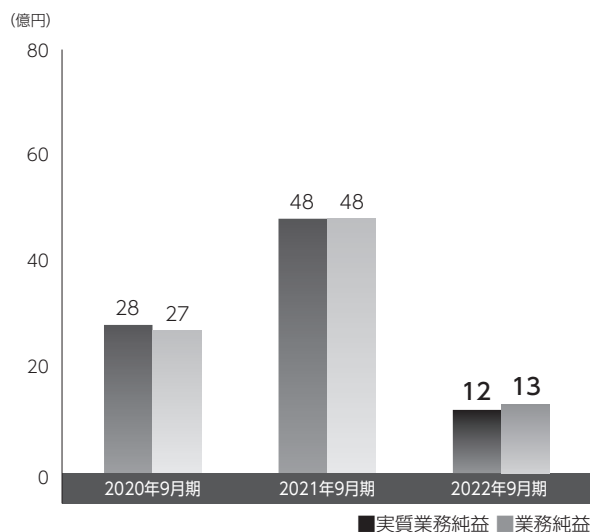


実質業務純益と業務純益

実質業務純益は、資金利益、役務取引等利益が増加し、経費も減少しましたが、その他業務利益が減少し、前年同期比35億93百万円減少の12億83百万円となりました。業務純益は、一般貸倒引当金繰入額の減少により、前年同期比35億9百万円減少の13億67百万円となりました。

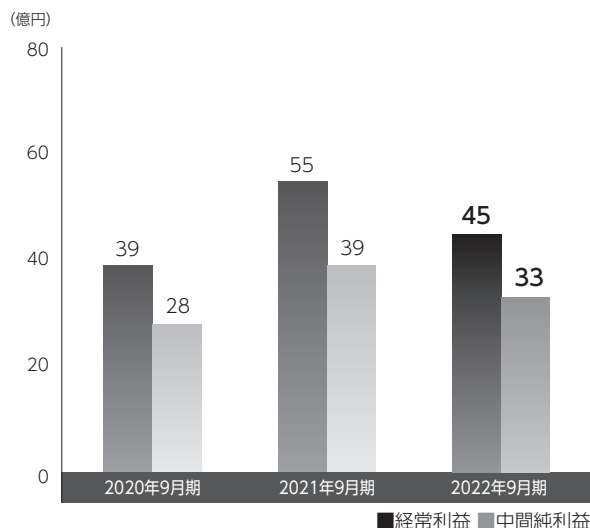
実質業務純益と業務純益



経常利益と中間純利益

臨時損益は、不良債権処理額が増加しましたが、株式等関係損益の増加等により、前年同期比24億92百万円増加の31億97百万円となりました。この結果、経常利益は前年同期比10億16百万円減少の45億65百万円、中間純利益は同5億85百万円減少の33億39百万円となりました。

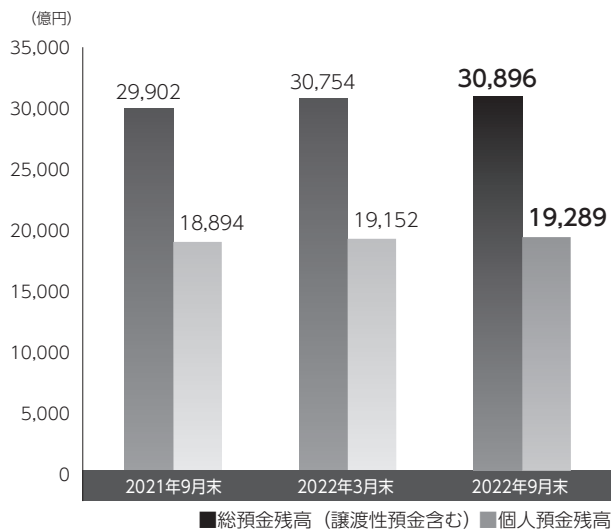
経常利益と中間純利益



総預金と個人預金

総預金（譲渡性預金を含む）は、個人預金、法人等預金及び譲渡性預金がそれぞれ増加し、前年同期末比994億円増加の3兆896億円となりました。前年度末比では142億円増加しております。

総預金残高（譲渡性預金含む）と個人預金残高

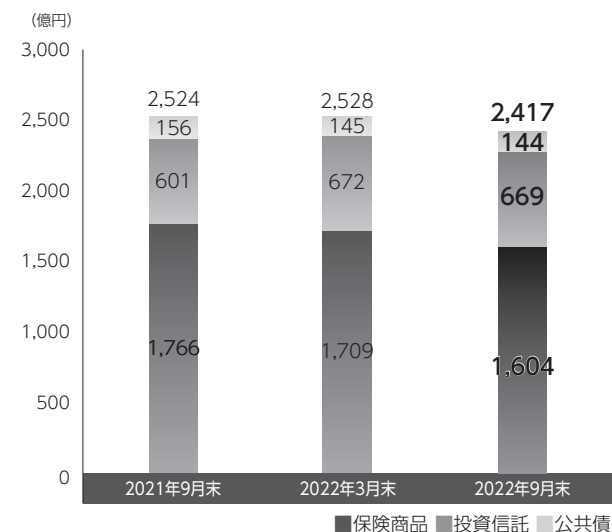


預り資産(公共債、投資信託、保険商品)

預り資産は、投資信託は増加しましたが、保険商品等が減少し、前年同期末比106億円減少の2,417億円となりました。前年度末比では110億円減少しております。

保険商品は過去の契約商品が順次満期到来を迎えていること等により減少していますが、期中の販売額は好調に推移しており、コンサルティング収益の増加に寄与しています。

預り資産(公共債、投資信託、保険商品)



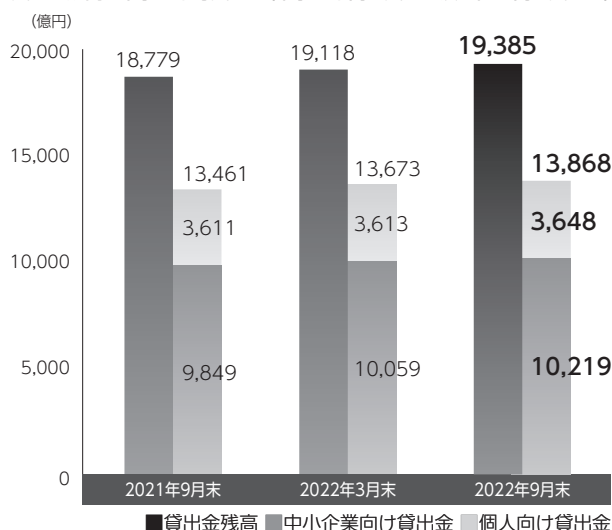
貸出金と中小企業等貸出金

貸出金は、中小企業向けを中心とした事業性貸出金の増加により、前年同期末比606億円増加の1兆9,385億円となりました。前年度末比では267億円増加しております。

中小企業向け貸出金は、前年同期末比370億円増加の1兆219億円となりました。前年度末比では160億円増加しております。

個人向け貸出金は、住宅ローンの増加により前年同期末比37億円増加の3,648億円となりました。前年度末比では35億円増加しております。

貸出金残高と中小企業等貸出金(中小企業向け貸出金及び個人向け貸出金)



有価証券

有価証券は、ポートフォリオ改善を目的とした残高の圧縮を行ったことにより、前年同期末比2,095億円減少の7,400億円となりました。前年度末比では2,013億円減少しております。

有価証券残高(円建債券、外貨建債券、投資信託等)

